

LMT15 リモコン壁掛け金具 取扱説明書

-----40～60V型の薄型テレビで、重量68kg以下に適用-----

このたびは、LMT15の薄型テレビ用リモコン壁掛け金具を、お買い上げいただきましてありがとうございます。
LMT15は、壁面から0～13°の範囲で上下方向の視野角調整（TILT）をする事が出来ます。
ご使用前に、この「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
お読みになったあとは大切に保存してください。

お客様へ

本製品の取り付けには、確実な作業が必要となります。
販売店や工事店に依頼して、安全性に十分考慮して確実な取り付けを行って下さい。

販売店様・工事業者様へ

薄型テレビの取り付けには特別な技術が必要ですので、設置の際は取扱説明書をよくご覧の上、設置を行って下さい。
取り付け不備や、取り扱い不備による事故や損傷については、当社では責任を負いません。

1. 安全上のご注意

お使いになる人や他人への危害、物的な損害を未然に防ぐため、必ずお守り頂きたい事項を説明します。
表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や物的損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 **注意** 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 人が死亡又は重傷を負う恐れがある内容を示します。

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

 人がけがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示します。

警告

 工事専門業者以外は取り付け工事を行わないで下さい。
専門業者以外が工事を行うと、工事の不備により落下してけがの原因になります。

 取り付け強度は、安全のため十分余裕を取って下さい。
強度が不足すると落下して死亡やけがの原因になります。

 荷重に耐えられない場所には取り付けしないで下さい。
強度の弱い壁や平面でなかったり垂直でない壁に取り付けると落下してけがの原因になります。
壁の強度は少なくとも薄型テレビの重量の5倍の強度に耐える場所が必要です。

⚠ 警告



禁止

LMT15 薄型テレビ用リモコン壁掛け金具は、40V ~ 60V 型のサイズで、**総重量 68kg 以下の薄型テレビを、壁面に固定するものです。**
68kg 以上の薄型テレビの取付には、**絶対使用しないで下さい。**
この指定を守らないと、薄型テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となります。



禁止

湿気やほこりの多いところや、油煙や湯気の当たる場所や屋外には取り付けないで下さい。
又、エアコンの上や下にテレビを取り付けないで下さい。
テレビに悪影響をあたえたり、火災・感電の原因になります。



組み立ての手順を守り、指定の箇所は**すべて確実にネジ止めして下さい。**
ネジ山の破損したネジや、さびたネジは**絶対使わないで下さい。**
指定を守らないと、テレビの取り付け後に破損や落下等、思わぬ事故の原因となることがあります。



テレビの取り付けや取り外し作業は、**2人以上で行って下さい。**
テレビが落下して、けがをしたりテレビが破損する原因となることがあります。



禁止

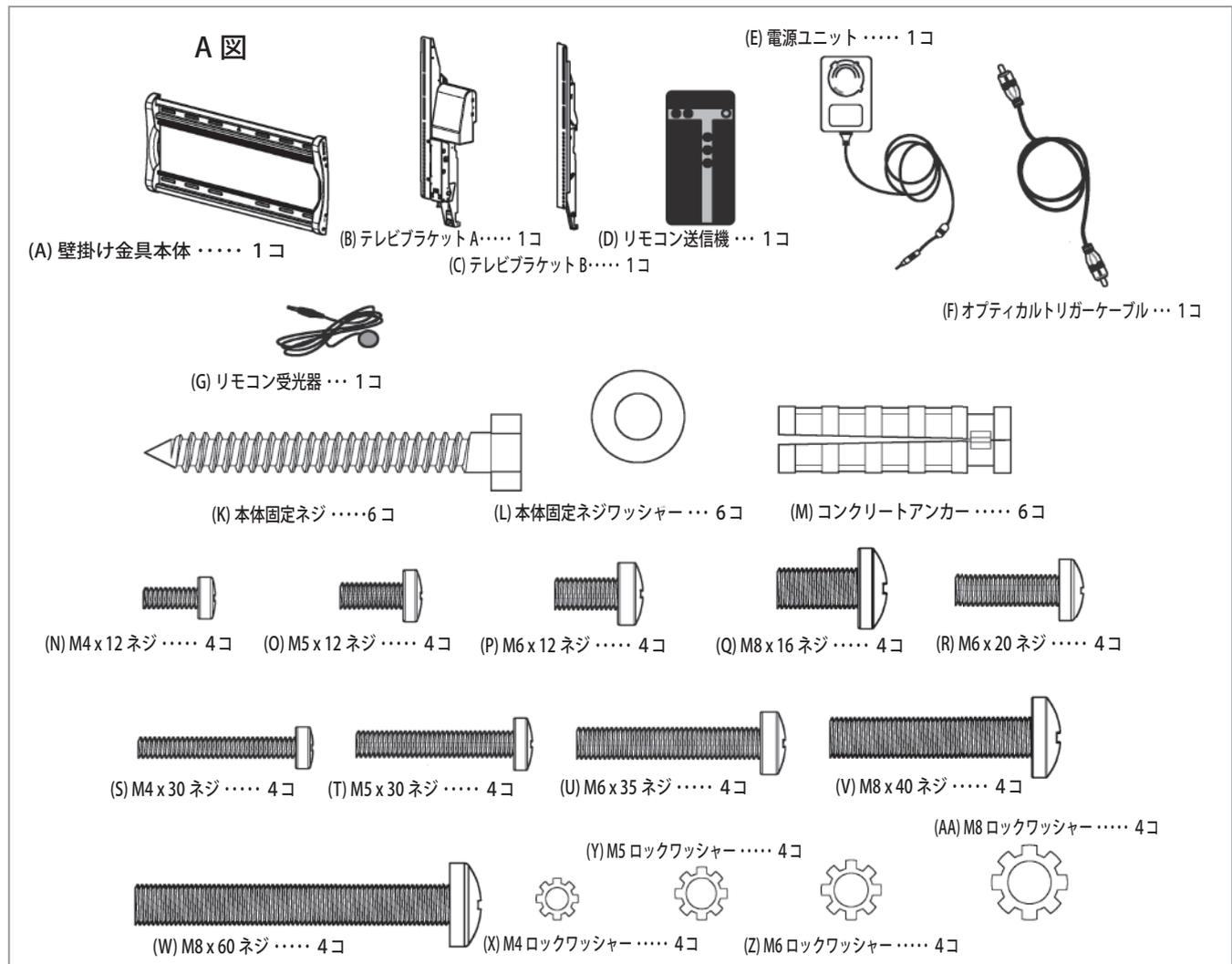
取り付け作業の際は、テレビや周辺機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
感電の原因になったり、テレビや周辺機器を破損する恐れがあります。



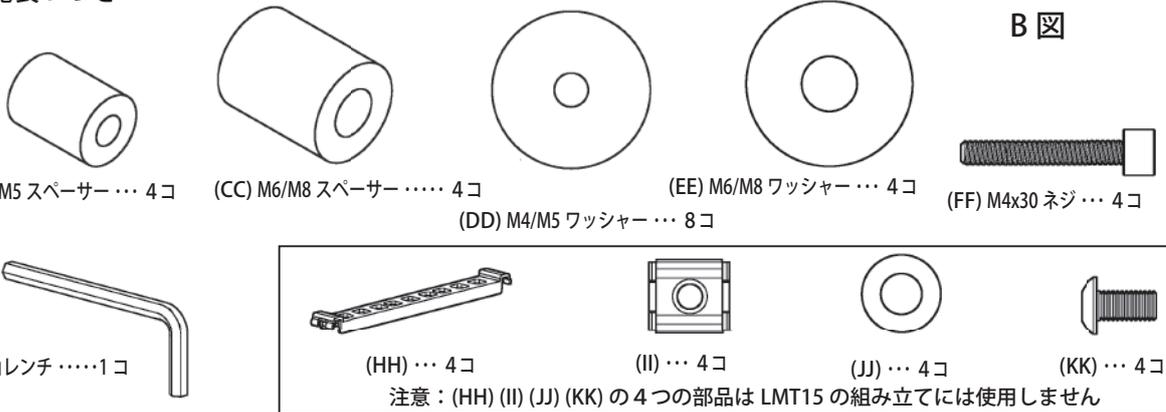
壁掛け金具を組み立てたり、各工程に使用するネジは、下記の部品表に記載してありますが、壁面の材質や厚み等によっては、**不適合な場合がありますので、その場合は市販の適切なネジを使って下さい。**

2. 部品一覧表

梱包を開梱し、組み立てる前に次のA図とB図の部品名と現品の形を確認しておいて下さい。



部品一覧表つづき



3 組み立てかた

1 壁掛け金具本体の壁面への取付け

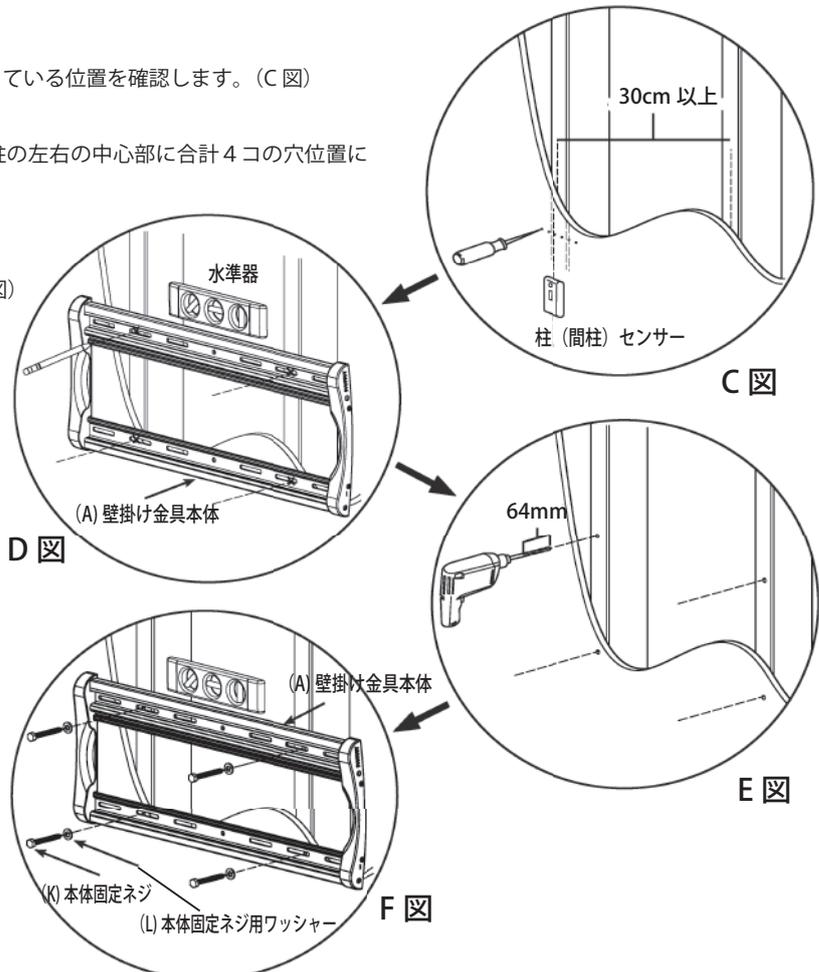


壁掛け金具を取り付ける壁面は、最大 68kg の薄型テレビの重量を保持する強度が必要です。各家屋毎に壁面の構造や強度が異なるので、工事業者の皆さんが専門的に壁面を診断の上、最適な工法を決めて工事して下さい。なお、この取り付け金具は、鉄柱や鉄骨には取り付けできません。下記の「木柱及びコンクリート壁」への取り付けの説明は、工事方法の一例として参考にして下さい。

注意：本体固定ネジを締めすぎないようにしてください。本体固定ネジ(K)は、本体固定ネジ用ワッシャー(L)が壁掛け金具本体(A)に密着する程度に締めつけます。ドライウォールその他の材質の層がある場合は、このドライウォールなどの材質の厚さが 16mm 以下でなければなりません。この確認を怠ると、器物の破損やケガを引き起こす恐れがあります。

木柱への取付

- 高性能の間柱センサーを使用して、間柱の建っている位置を確認します。(C 図)
2 本の間柱の間隔は 30cm 以上必要です。
- 壁掛け金具本体(A)を型紙代わりにして、間柱の左右の中心部に合計 4 コの穴位置に印を付けます。(D 図)
水準器で正確に水平位置を確認して下さい。
- 次に、印を付けた位置に 4.8 mm のドリルを使って深さ 64mm の下穴を 4 個開けます。(E 図)
- この下穴に、4 本の本体固定ネジ(K)と本体固定用ネジワッシャー(L)を使って、壁掛け金具本体(A)を F 図に示した通りに壁に取り付けます。

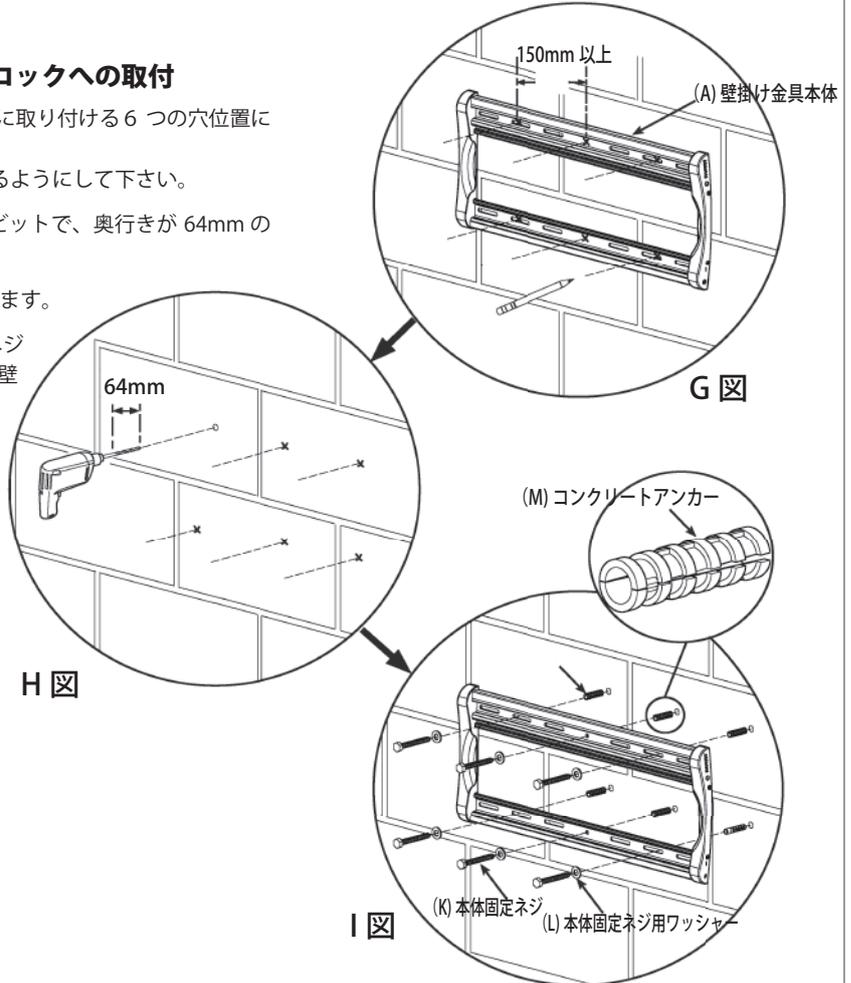


壁掛け金具本体の壁面への取付けのつづき

注意：本体固定ネジを締めすぎないようにしてください。本体固定ネジ(K)は、本体固定ネジ用ワッシャー(L)が壁掛け金具本体(A)に密着する程度に締めつけます。ドライウォールその他の材質の層がある場合は、このドライウォールなどの材質の厚さが16mm以下でなければなりません。この確認を怠ると、器物の破損やケガを引き起こす恐れがあります。

レンガ、コンクリート、コンクリートブロックへの取付

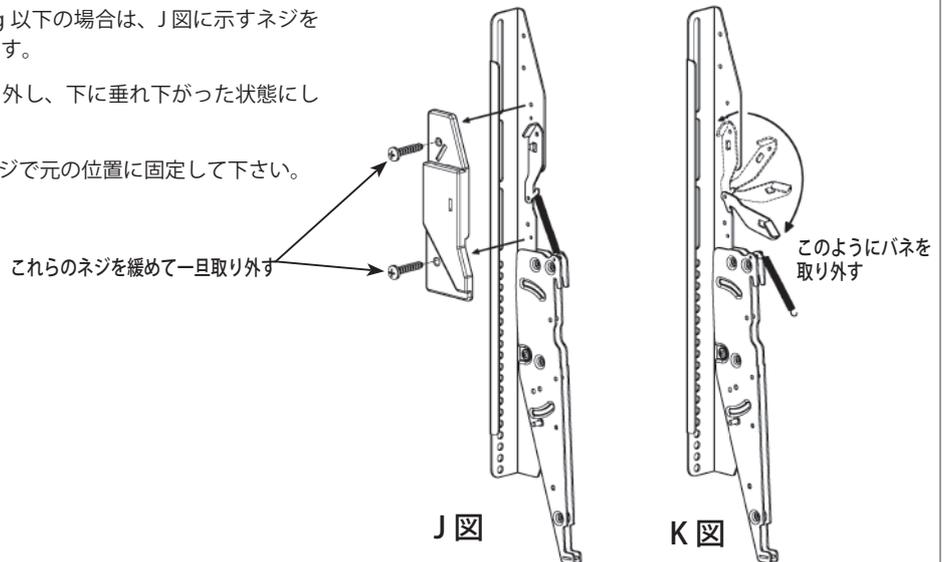
- (1) 壁掛け金具本体(A)を型紙代わりにして、壁面に取り付ける6つの穴位置に印を付けます。(G図)
穴位置の横方向の相互間隔は150mm以上となるようにして下さい。
- (2) 印を付けた位置に、13mmのコンクリート用ビットで、奥行きが64mmの下穴を注意深く6コ開けます。(H図)
- (3) 各々の穴にコンクリートアンカー(M)を挿入します。
- (4) 6本の本体固定ネジ(K)と、6個の本体固定ネジワッシャー(L)を使って、壁掛け金具本体(A)を壁に取り付けます。
詳細はI図を参照して下さい。



注意  コンクリートアンカー(M)は、必ずレンガ、ブロック、あるいはコンクリートの部分に取付ます。ブロックとブロックの間のモルタルには絶対に取付けないで下さい。ドライウォールやその他の材質の壁がある場合でも、コンクリートアンカーが、コンクリート面に対し平らに設置されていることを確認します。

2. ブラケット内スプリングの取り外し ----- 重量36kg以上の薄型テレビの場合は、次の3項に進みます -----

- (1) ご使用の薄型テレビの重量が、36kg以下の場合は、J図に示すネジを2本とも緩めてケースを取り外します。
- (2) 次にK図に示すように、バネを取り外し、下に垂れ下がった状態にします。
- (3) 最初に取り外したケースを2本のネジで元の位置に固定して下さい。



3 薄型テレビへのブラケットの取り付け

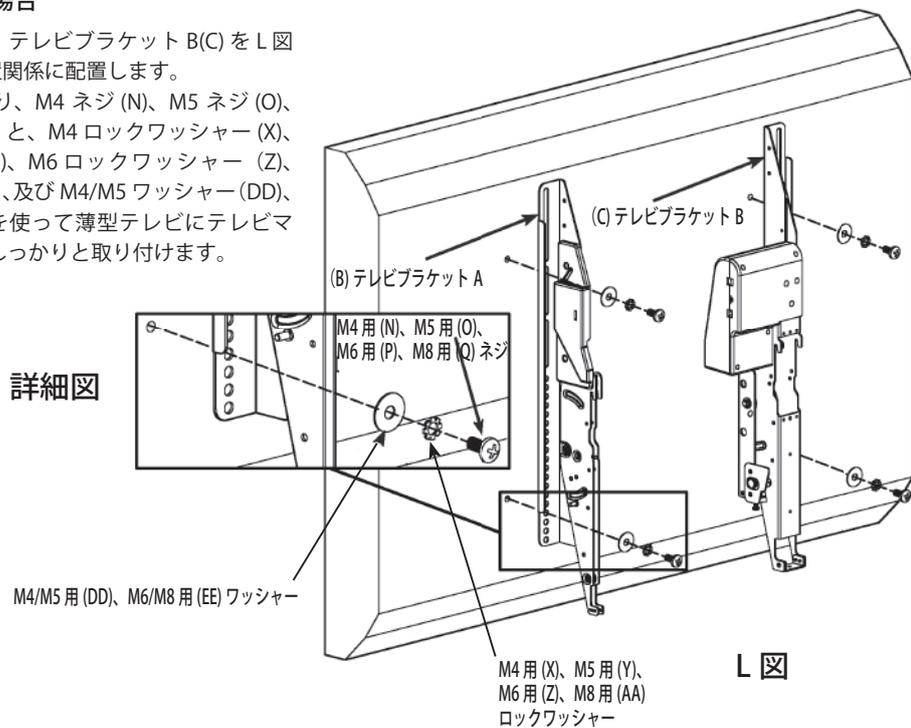
薄型テレビの電源を OFF にし、且つ電源コードがコンセントから抜かれている事を確認して下さい。

- (1) 薄型テレビを壁等のしっかりした場所に置きます。
薄型テレビのガラス面にキズが付くので、ガラス面を下にして床などに置かないで下さい。
- (2) 薄型テレビの背面に取り付けるテレビマウント (A) と (B) の場所を見つけ、そのネジ穴の径を調べます。
M4 ネジ (N)、M5 ネジ (O)、M6 ネジ (P)、M8 ネジ (Q) を順番に手で緩くねじ込んで、適合するネジの径を見つけます。
もし、手でネジをねじ込んでいる時に、ネジの先端が何かにぶつかった様に感じた時は、直ちにそれ以上ネジ込むのは止めて下さい。

背面が平坦な薄型テレビの場合

- (3) テレビブラケット A(B) と、テレビブラケット B(C) を L 図に示す左右及び上下の位置関係に配置します。

先に調べたネジの径により、M4 ネジ (N)、M5 ネジ (O)、M6 ネジ (P)、M8 ネジ (Q) と、M4 ロックワッシャー (X)、M5 ロックワッシャー (Y)、M6 ロックワッシャー (Z)、M8 ロックワッシャー (AA)、及び M4/M5 ワッシャー (DD)、M6/M8 ワッシャー (EE) を使って薄型テレビにテレビマウント A 及び B の金具をしっかりと取り付けます。

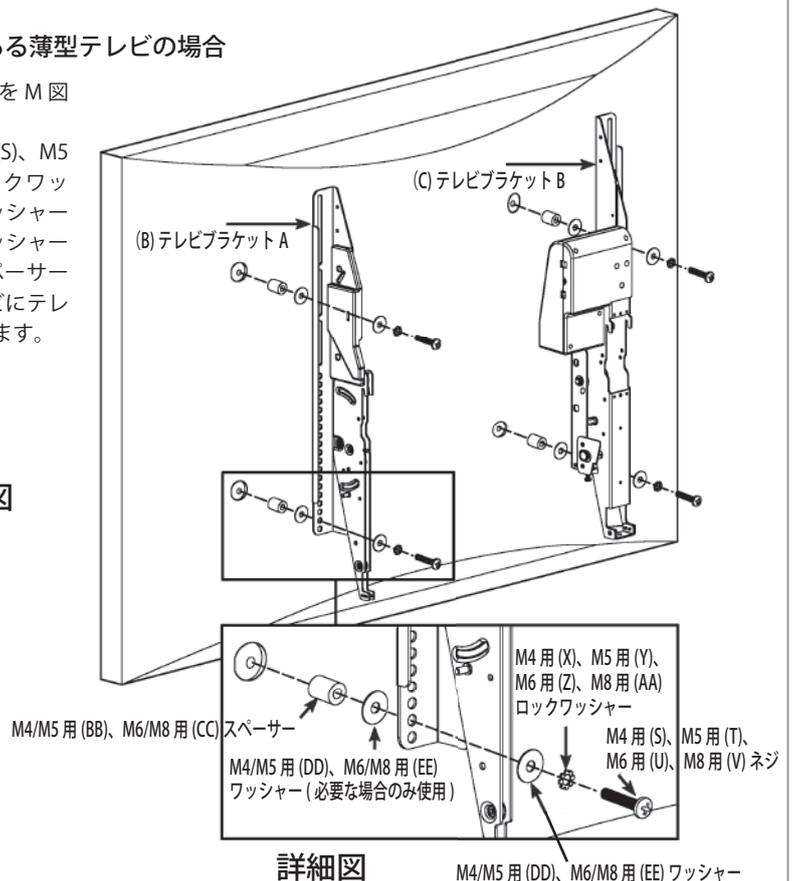


背面が曲線状、又は取付け用ネジ部分に窪みのある薄型テレビの場合

- (4) テレビブラケット A(B) と、テレビブラケット B(C) を M 図に示す左右及び上下の位置関係に配置します。

先に調べたネジの径により、首下の長い M4 ネジ (S)、M5 ネジ (T)、M6 ネジ (U)、M8 ネジ (V) と、M4 ロックワッシャー (X)、M5 ロックワッシャー (Y)、M6 ロックワッシャー (Z)、M8 ロックワッシャー (AA)、及び M4/M5 ワッシャー (DD)、M6/M8 ワッシャー (EE)、及び M4/M5 スパース (BB)、M6/M8 スパース (CC) を使って薄型テレビにテレビマウント A 及び B の金具をしっかりと取り付けます。

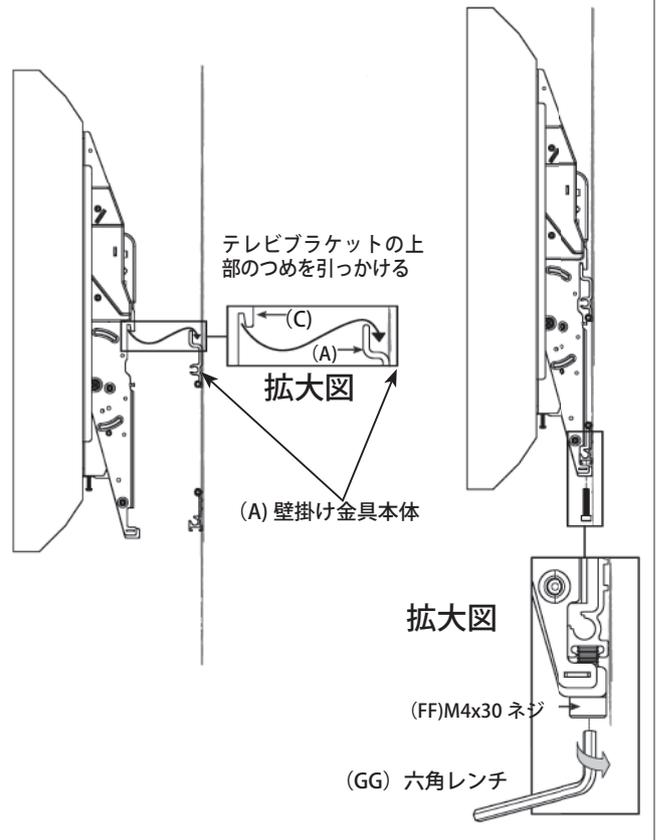
M 図



4 薄型テレビを壁面に取り付ける

- (1) N図に示すように、テレビブラケット A 及び B のつめ部分を、壁掛け金具本体 (A) のタブに引っかけます。
- (2) テレビブラケット A 及び B の下部を、壁掛け金具本体に押し当てます。
- (3) N図の拡大図のように、テレビブラケット A 及び B の最下部に 2 本の M4x30 ネジ (FF) を挿入して、六角レンチ (GG) でしっかりと締め付けて、テレビブラケットを壁掛け金具本体に固定します。

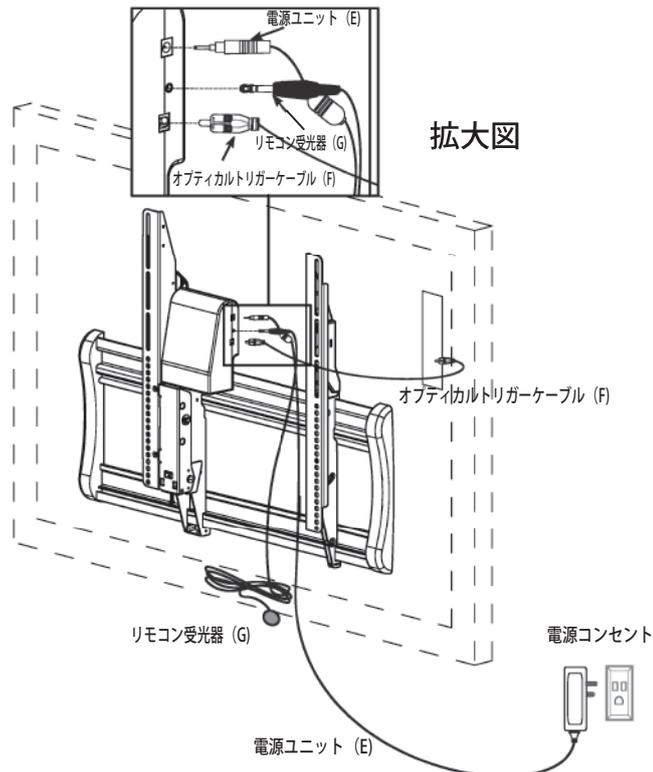
N 図



5 駆動部の各種ケーブルの配線処理

- (1) 壁掛け金具に電源を供給する電源ユニット (E) のプラグを O 図の拡大図のように一番上の端子に差し込みます。
- (2) リモコン駆動する為のリモコン受光器 (G) のプラグを拡大図のように中央の黒い端子に差し込みます。
- (3) もしご使用のテレビに光音声出力端子が装備されている場合は、オプションとして同梱したオプティカルトリガーケーブル (F) を、拡大図の一番下の端子に差し込み、もう一方をテレビの光音声出力端子に接続します。この機能は、テレビの電源を ON すると壁掛け金具をホームポジションに自動的にセットアップします。テレビに光音声出力端子のない場合は、オプティカルトリガーケーブルを、接続する必要はありません。

O 図

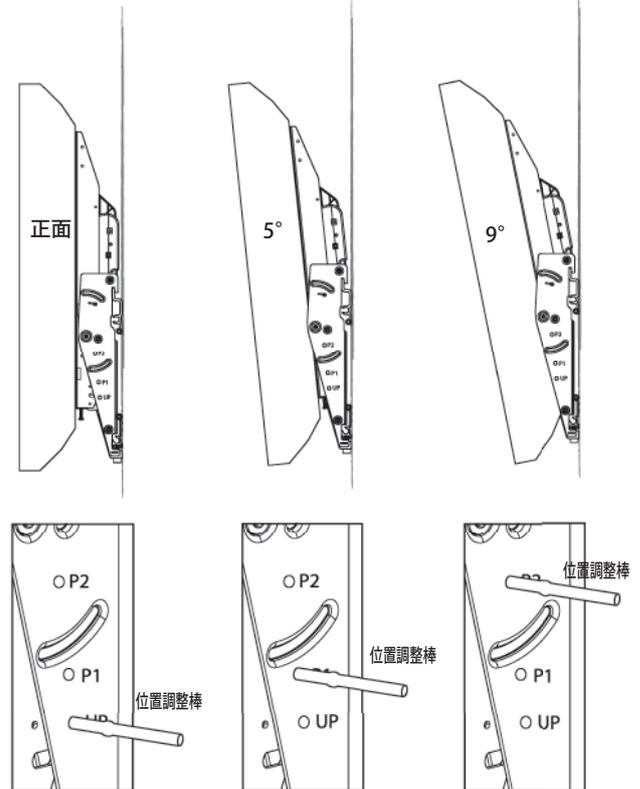


6 視野角のホームポジション設定

ホームポジションの設定

- (1) テレビの上下方向の視野角の初期値であるホームポジションを設定します。
LMT15の壁掛け金具は、このホームポジションを基準にしてリモコンで下方向に移動します。
- (2) テレビのホームポジションとして壁面と平行に、真っ正面に向けたい場合は、添付した位置調整棒を「UP」の穴に入れます。
- (3) 同様に、5° 傾けたい時は「P1」に、9° 傾けたい時は「P2」に位置調整棒を差し込みます。
- (4) これらの位置調整棒を差し込む際には、テレビを手で0° 又は5° 又は9° 程度傾けてから、「UP」「P1」「P2」の穴と、その奥に開いている丸穴を一致させてから、調整棒を差し込んで下さい。

P 図



7 リモコン送信機の説明

A : AUTO ボタン

- 1) オプティカルトリガー機能を利用している場合
TVの電源をONにする前にこのボタンを押すことでLMT15はオートモードに入ります。
《オートモード》TVの電源がONになると自動でLMT15がチルトを開始し、TVの電源をOFFにすると自動でLMT15がホームポジション（6項でセットした初期値）に復帰する機能です。
オートモードでは、TVの電源が入った時点でLMT15が自動的にチルトを開始します。チルトはE: STOP ボタンが押されない限りは最大角度（下向き13度）までチルト動作を続行します。
壁面に対する最大チルト角度の13度は、6項でホームポジションをどのように選択しても一定です。
オートモード中でもD,Fボタンで角度調節は可能です。
TVの電源を切った時点でLMT15は自動的にLMT15がホームポジション（6項でセットした初期位置）に復帰します。
- 2) オプティカルトリガー機能を利用していない場合
AUTOボタンは機能しません。また、オートモードも機能しません。
LMT15はマニュアルモードで動作します。

B : MANU ボタン

オートモード中にこのボタンを押すと、マニュアルモードに切り替わります。
マニュアルモードではDもしくはFボタンを押さない限りLMT15は動作しません。

C : RESET ボタン

仕様上使っていません。

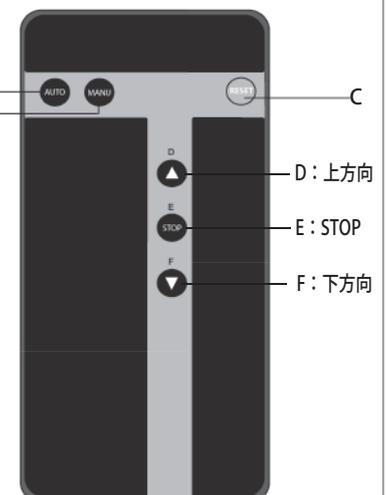
D,F : 矢印ボタン

一度押すとE: STOP ボタンを押さない限りそれぞれの方向に最大角度まで動作を続けます。

E : STOP ボタン

LMT15が動作しているときに適当な位置で停止させます。

A: オートボタン
B: マニュアルボタン



Q 図

8 トラブルシューティング

1. テレビが下方方向に完全に傾けられない
 - a. テレビの自重で傾く構造を採用している為、ケーブルやワイヤー類が引っかかって傾くのを妨害してないかどうか調べる。
 - b. 自重の軽いテレビの場合、スプリングがテレビを持ち上げている可能性があるため、2項の説明通りスプリングを取り外す。
2. テレビを上方向に動かすと、途中で止まってしまう
 - a. 上方向に動くのを妨害する異物がないかどうか調べる。
 - b. テレビの自重が、最大許容荷重の68kgを超えている場合は、LMT15は、使用出来ません。
3. テレビの電源をON/OFFしても、LMT15が連動してUP/DOWNしない
 - a. うっかりマニュアルボタンを押した可能性があるため、「AUTO」ボタンを押し直す。
 - b. オプティカルトリガーの接続ケーブルがしっかりと機器に接続してあるかどうか確認する。
4. LMT15がリモコンで動作しない
 - a. リモコン受光器のケーブルが、确实のLMT15のコネクターに、差し込まれているかどうか確認する。
 - b. リモコン受光部とリモコン送信機間に赤外線伝送を障害する物体がないかどうか確認する。
 - c. ACアダプターのプラグが、确实のLMT15のコネクターに、差し込まれているかどうか確認する。
 - d. リモコン送信機の内蔵電池が消耗してないかどうか確認する。
5. テレビが垂直位置から前方向に傾く
 - a. テレビの自重が前方向に傾ける作用をするため、6のホームポジション位置の調整で、ご希望の角度となるように調整する。



Sanus Systems 輸入総代理店・発売元

NETWORK JAPAN

お問い合わせ・ご購入は、弊社正規販売店又は弊社営業窓口へ
〒559-0031 大阪市住之江区南港東1-2-16
ネットワークジャパン株式会社 TEL:06-6612-2008 FAX:06-6612-2050

<http://www.network-jpn.com/> E-mail: info@network-jpn.com